

# 第1回 獣医学生 アイデアコンテスト

名前/チーム名： 田中 瑞樹

学校名： ロイヤルカナン大学

タイトル： スマート待合室：AIがサポートする快適な待合体験

解決したい現状の課題とその理由： 動物病院の人員不足、待ち時間の延長、診察まで自宅で待機するケースも増えてきた

## 【アイデアの詳細】

近年、動物病院の人員不足が獣医業界における大きな課題となっている。それに伴い、診察までの待ち時間が延長し、ひと昔前と比較して、ペットオーナーの「動物病院離れ」が深刻化してきているように感じる。

そのような現状を改善させるために、獣医学的知識が豊富な犬型・猫型のAIロボットを待ち合いに数頭設置し、ペットオーナーが普段の悩み事を投げかけると、解決策を提示してくれたり、相談に乗ってもらえる環境を作る（相談内容が電子カルテに飛び、診察前に悩み事を詳しく把握できることで、顧客満足度の向上にも繋がる仕組み）

また、待ち合いで暇そうにしているペットの相手までしてくれることで、病院が好きなペットも増え、結果としてペットオーナーが病院に足を運ぶ頻度が増えることも期待できる。

このようなAIロボットが各病院に設置されれば、「動物病院離れ」の解消にも繋がるのではと考えました。

